

## 研究課題名

SFTS 症例の空間的トランスクリプトーム解析による病因・病態機構の解明

## 研究の目的と方法

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）は SFTS ウイルス（SFTSV）によって引き起こされるダニ媒介性感染症です。2011 年に中国で初報告され、2013 年には日本においても疾患およびウイルスの存在が確認されています。ウイルスは西日本優位に全国の野生動物に分布しており、発症者での致死率は 20%程度と非常に高く、疫学上も重大なウイルス感染症であることから、報道も多くされています。しかし、この疾患の診断・治療に重要な、病気の状態の特徴については未だに十分には研究されていません。そこで国立感染症研究所では、医療機関と協力して SFTS 症例の病理解剖例の組織検体を用いてこの病気の状態を詳細に検討する研究を実施しています。本研究の結果は、SFTS の診断、予防、治療に非常に有用な知見をもたらす、社会的意義は非常に大きいと考えています。本研究では個人を特定する情報は使用しません。成果は学会や学術誌で発表します。その際にも、対象者の個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。

## 研究の対象者及び対象期間

2013 年以降から研究終了までの期間に、受診医療機関もしくは共同研究医療機関を通じて SFTS の検査のために国立感染症研究所感染病理部に検体が送付された方

## 研究期間

令和4年（2022年）12月12日 ～ 令和6年（2024年）3月31日

## 研究に用いる試料・情報

検査を依頼した医療機関から SFTS 検査のために感染研感染病理部に提供された組織の残余検体と情報（感染研に送付時に個人が特定されないように匿名化されており、年齢、性別、基礎疾患、臨床経過などを含みます。）と共同研究医療機関から提供された症例情報（居住市町村、SFTS ウイルス感染に関する疫学情報、その他の病原体検査結果、臨床情報、臨床検査結果、病理解剖所見を含みます。）

## 研究組織

研究機関名	職位	研究責任者名	役割
国立感染症研究所（研究代表機関）	感染病理部長	鈴木忠樹 （研究代表者）	データ・検体解析
市立宇和島病院（共同研究医療機関）	副院長	金子 政彦	臨床情報解析と検体収集
KOTAI バイオテクノロジーズ	代表取締役	山下 和男	データ解析

## お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

研究の対象となっている方は、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、研究代表機関連絡先までお申出下さい。また、試料・情報が本研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、入院された共同研究機関（医療機関）の研究責任者を通じてお申出ください（連絡先が分からない場合は下記の研究代表者にお問い合わせください）。試料・情報が研究に用いられることにご了承いただけない場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、成果の発表後は、研究対象からの除外に応じることができません。

研究代表機関連絡先

〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1

国立感染症研究所

鈴木 忠樹（研究代表者）

TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1189